

2019年4月18日
イオン株式会社

PPAモデル[※]を導入し、太陽光発電電力の活用を拡大します 脱炭素の取り組みを加速、再生可能エネルギー活用を拡大

イオンは、再生可能エネルギーの活用拡大に向け、商業施設へのPPA「Power Purchase Agreement（電力販売契約）」モデル[※]の導入を開始します。

PPAモデル導入開始として、イオンタウン湖南（運営：イオンタウン株式会社）の屋根スペースを提供し、PPA事業者が1メガワットを超える発電能力のある太陽光パネルを設置、そこで発電された電力をイオンタウン湖南が自家消費分として購入・活用する契約を3月29日に締結しました。

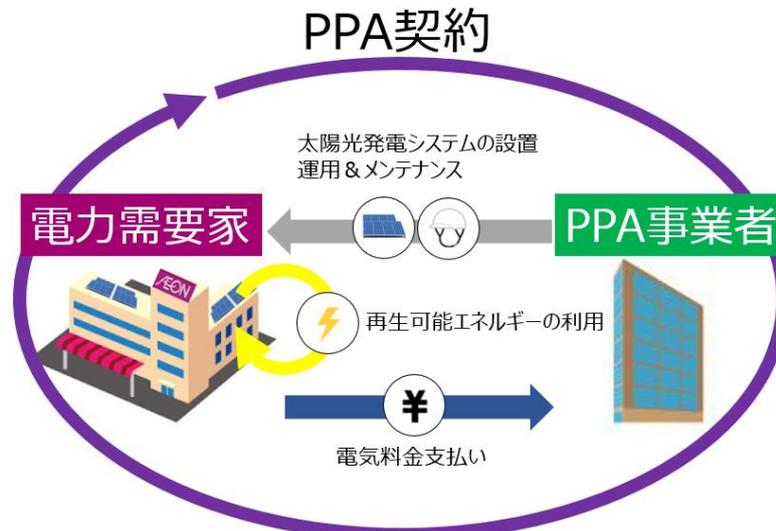
イオンは、「イオン 脱炭素ビジョン2050」を2018年3月に発表し、2050年までに店舗で排出するCO₂等を総量でゼロにすることを目指しています。また、中間目標として2030年までに店舗で排出するCO₂等を総量で35%（2010年比）削減することを定め、省エネの取り組みに加え、再生可能エネルギーの活用拡大に向けて取り組んでいます。なお、この脱炭素ビジョン策定を機に100%再生可能エネルギーでの運営を目標に掲げる国際イニシアティブ「RE100」に加盟しています。

今回のPPAモデルの導入は、本目標達成に向けた取り組みの一環であり、グループ各社の商業施設のスペースを有効活用し、太陽光発電電力の利用拡大を進めます。

イオンは、脱炭素社会の実現に向け、今後もグループをあげて再生可能エネルギーの活用をはじめとする様々な取り組みを推進してまいります。

※PPAモデルとは、「Power Purchase Agreement（電力販売契約）モデル」の略で、PPA事業者が、電力需要家の敷地や屋根等のスペースを借り太陽光発電システムを設置し、そこで発電した電力を電力需要家に販売する事業モデルです。

< PPAモデル概略図 >



ご参考

<イオンタウン湖南>

所在地 : 滋賀県湖南市岩根4580
敷地面積 : 98,378㎡ (約29,759坪)
延床面積 : 28,611㎡ (約8,655坪)
店舗数 : 41店舗
発電容量 : 1,161.6kW相当
契約締結日 : 2019年3月29日
設置完了予定 : 2019年12月

<イオンタウン株式会社>

商号 : イオンタウン株式会社
代表者 : 代表取締役社長 加藤 久誠
所在地 : 千葉県千葉市美浜区中瀬1丁目5番地1
イオンタワービル10階
設立 : 1992年6月

<本契約のPPA事業者>

商号 : MULユーティリティーイノベーション株式会社
代表者 : 代表取締役社長 松本 義法
所在地 : 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号
設立 : 2018年5月
事業内容 : エネルギー関連事業に関する調査・企画・開発及び事業投資
株主 : 三菱UFJリース株式会社 100%

<イオン 脱炭素ビジョン2050>

イオン 脱炭素ビジョン2050

イオンは、3つの視点で温室効果ガス（以下、CO₂等）
排出削減に取り組み、脱炭素社会の実現に貢献します。

[店舗]

店舗で排出するCO₂等を2050年までに総量でゼロにします。

[商品・物流]

事業の過程で発生するCO₂等をゼロにする努力を続けます。

[お客さまとともに]

すべてのお客さまとともに、脱炭素社会の実現に努めます。

【中間目標】

店舗で排出するCO₂を2030年までに総量で35%削減します。(2010年比)